

2024年07月版

THERMO & WATERBLOCK

**LLS**

Long Life System

アトムレジーナ

長寿命化対応 外壁防熱防水工法

# アトムレジーナ FM工法

JIS A 6021 建築用塗膜防水材 外壁用アクリルゴム系

ATOM/X

建物の長寿命化を目的に開発された防熱防水材。

防水層が存在する限り防熱効果も持続する。

長期間「熱と水」をブロック。

## クラックの抑制と防水性の両立。

クラックの発生と雨水の浸入。熱と水の関係が建物の寿命を損なう大きな原因です。

クラックの発生を抑制し、長期間防水性を維持していくことが建物の長寿命化では有効な対策です。

具体的には寒暖、湿乾の差を小さくすることで、クラックの発生や動きは抑制することができます。

夏場の温度上昇を抑え、冬場との温度差を小さくし、躯体の呼吸ができるだけ阻害せず、完全な防水が機能することが重要です。そして長期間安定的に機能が持続することが長寿命化には必要です。

## 防熱 & 防水。異なる機能が長期間安定的に持続。

防水層が存在する限り防熱性も機能する。

アトムレジーナは従来の塗膜防水のようにトップコートに依存せず、防熱・防水という異なる機能が長期間安定的に持続する「超耐久性外壁防水材」です。

熱と水という劣化原因にWブロックで対応する、画期的な外壁防水材です。

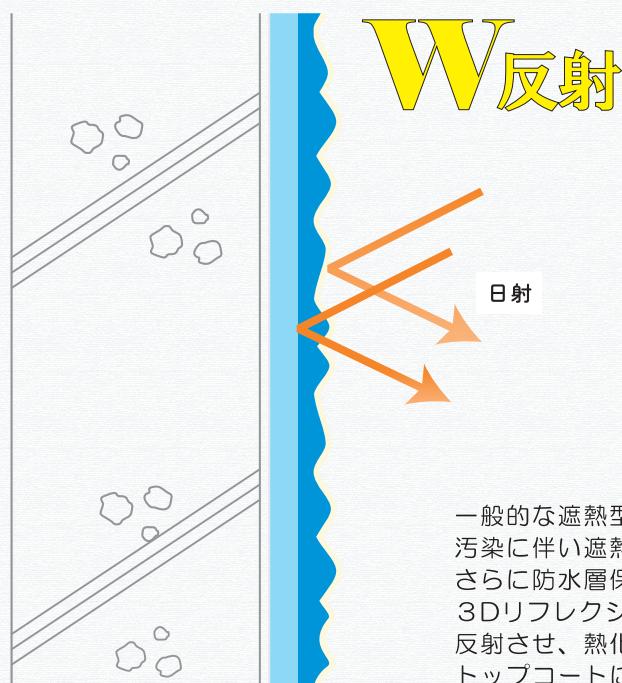
## 3D リフレクションシステム Reflection System

太陽光の熱成分である近赤外線を防水層全体で立体的に反射ブロックする画期的な防熱防水システムです。

防水層が存在する限り、防熱効果も安定的に持続します。

### 遮熱性能試験

キセノンランプ100Wを用いて、基準板表面が60°Cになるように距離を設定しています。  
温度が低いほど遮熱性能が優れます。



### 遮熱性能の比較

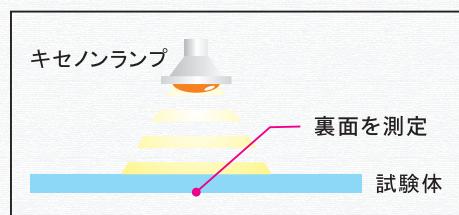
(フリーフィルム裏面温度)  
ページュ系トップコートによる試験

アトムレジーナ FM-1工法	アトムレジーナ FM-2工法	他社JIS A 6909 防水形複層塗材E
59.1°C	56.9°C	64.3°C

一般的な遮熱型トップコートを用いた工法では、トップコートの劣化や汚染に伴い遮熱性能は著しく低下してしまいました。

さらに防水層保護のためにも防水保証期間中の塗り替えが条件となります。  
3Dリフレクションシステムは、熱の原因となる近赤外線を防水層全体で反射させ、熱化をブロックするシステムです。

トップコートに依存しないので、防熱効果が長期間安定的に持続します。



材料はすべて水性一液型。環境対応も万全です。

### 防熱防水工法

アトムレジーナ

FM-1工法

建物の長寿命化を目的に開発された、アクリルゴム系外壁防水材 JIS A 6021。

顔料配合技術により、防水材に近赤外線を反射させる特殊機能を付加。

アクリルの特性を改良発展させ、耐候性・耐熱性・付着性・下地追従性・水蒸気透過性が非常に優れ、紫外線や熱にも長期間劣化を起こさない超耐久性外壁防水材です。

### 断熱防水工法

アトムレジーナ

FM-2工法

アトムレジーナに、断熱性を有する粉体の【レジーナコンポH】を配合。

これをパターン層として塗布することにより、近赤外線から熱に変わった

直後の熱を下地に伝えにくくさせます。（仕上げパターンはオリジナルとなります）

断熱性能と反射機能を併用する画期的なシステムで長寿命化に貢献いたします。

### 遮熱トップコート

レイズトップSG

建物の長寿命化を目的に開発された、水性アクリルウレタン系遮熱トップコート。

アトムレジーナとの併用によるW反射で遮熱性能が向上し、長期間維持します。

### 遮熱トップコート

レイズトップSI

水性アクリルシリコン系遮熱トップコート。レイズトップSGと同等の遮熱性能を有します。

## FM-1工法

防水層全体が近赤外線を反射。  
既存パターンを活かした仕上げ  
が可能。

遮熱トップコート層  
遮熱パターン層  
遮熱防水層

アトムレジーナFM-1工法【防熱防水工法】			
工程	製品名	塗布量	材料機能
1	アトムレジーナ	0.5 kg/m <sup>2</sup>	遮熱防水材
2	アトムレジーナ	0.6 kg/m <sup>2</sup>	遮熱防水材
3	レイズトップ SG または レイズトップ SI	0.15 kg/m <sup>2</sup>	遮熱トップコート
4	レイズトップ SG または レイズトップ SI	0.15 kg/m <sup>2</sup>	遮熱トップコート

※本工法はローラー仕上げになります。スプレーによる仕様はご相談ください。  
別途下地調整が必要な場合があります。

## FM-2工法

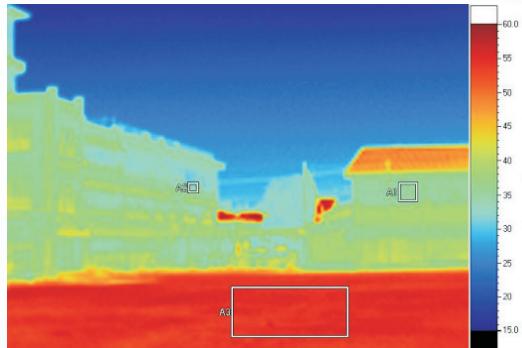
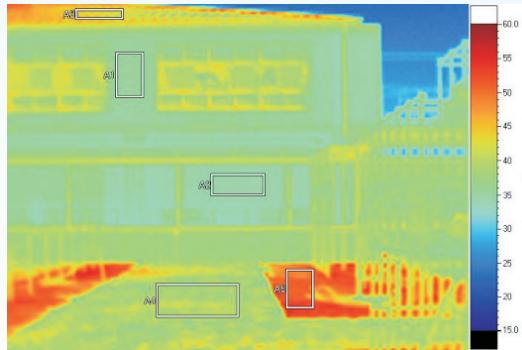
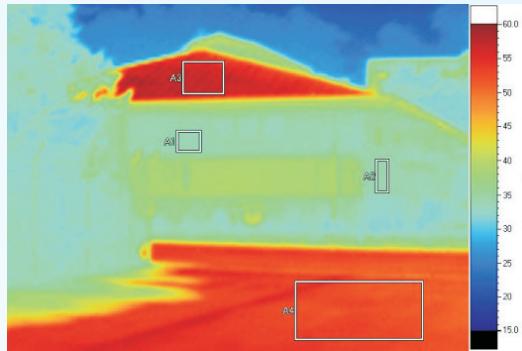
反射機能と断熱性能を併せ  
持ち、より防熱効果を高めた  
工法。

遮熱トップコート層  
断熱パターン層  
遮熱防水層

アトムレジーナFM-2工法【断熱防水工法】			
工程	製品名	塗布量	材料機能
1	アトムレジーナ	0.5 kg/m <sup>2</sup>	遮熱防水材
2	アトムレジーナ + レジーナコンポH	0.6 kg/m <sup>2</sup> 0.09kg/m <sup>2</sup>	遮熱防水材 + 断熱性付与 パターン調整材
3	レイズトップ SG または レイズトップ SI	0.15 kg/m <sup>2</sup>	遮熱トップコート
4	レイズトップ SG または レイズトップ SI	0.15 kg/m <sup>2</sup>	遮熱トップコート

※パターン層塗りの工程で、アトムレジーナに規定量のレジーナコンポHを添加し、ローラーで塗布します。  
比較的大きなパターン層のオリジナル仕上げとなります。スプレーによる仕様はご相談ください。  
別途下地調整が必要な場合があります。

反射熱の抑制効果により、ヒートアイランド防止効果も期待されています。



■ サーモグラフィーによる温度差の比較

## 注意事項

- ・製品をご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項およびSDS(安全データシート)・施工仕様書をよくお読みください。
- ・改良等のため、製品および工法の名称、製品の中身・仕様、カタログの内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
- ・当販促物に表示しております使用量、仕様はあくまでも設計上の標準的な数値です。施工の際の諸条件によって増減する場合があります。
- ・製品本体および当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。またご使用方法等につきましてご不明な点がございましたら、必ず使用前に当社にお問い合わせください。
- ・本工法はアトムレジーナ工法およびそれに準じた工法で施工された外壁下地であり、かつ著しい劣化がない場合にできる改修工法です。詳しくは当社にお問い合わせください。

認定施工店

**RAYS**  
アトムレイズ

アトムレイズ工業会  
ホームページ

連絡先  
**アトミクス株式会社**  
レイズ事業部(アトムレイズ工業会 事務局)

〒174-0041 東京都板橋区舟渡3-9-6 アトミクス(株)  
TEL : 03-3969-3124 (直通) FAX : 03-3968-7300  
<https://www.atom-rays.com>

